

インフォメイトしょく

Vol.04
October
2014

特集

昭和病院の緩和ケアチームの活動について

ホールコンサートを開催しました

小平ガーデニングコンテスト銀賞 受賞!

市民公開講座を開催しました

形成外科のご紹介

ヒトが幸福に生きていくためには誇りなどの感情、いわば個人の尊厳の存在は絶対に欠かせないものです。ヒトは微妙な生き物です。指先を怪我してわずかに欠損しただけでも情緒安定度がかなり悪化します。まして先天性の外表異常や、やけど瘢痕などによるストレスはいかばかりか。

ちょっと前の内閣府の調査によると日本人の幸福度は彼らの属性や置かれている状況に影響を受けるとされます。すなわち女性、子持ち、既婚者、大卒などの要因は幸福度にプラスの影響を与え、逆に高齢、失業、ストレスがあることは幸福度にマイナスの要因となるようです。

このマイナスの要因に目を向けてみましょう。たとえば、失業者はそれによってもたらされる経済的な不安以上に地位を失ったと感じるストレスが幸福度の低下に影響を及ぼします。またストレスは種々の病態をもたらすトリガーとされますが、幸福感があればストレスを緩和するのみならずストレスの原因の発生そのものを抑えることができます。

ところで、医学上こういったストレスを減じるにはそこに美を必要とします。医学と美学（美術）を複合させたのが形成外科学です。もともと細胞レベルの異常を扱っていたのが従来からの治療医学、予防医学ですが、細胞の集團としての組織の形に関して云々するのが形成外科学で

中面につづく

以上から察するとおり、形成外科の主たる仕事は身体外表の変形、変色、醜状を手術、レーザーなどで治療することです。つまり患者さん本人の幸福感を妨げようなどの状態、目に見える変形、醜状は形成外科の範囲となります。

最後に主な形成外科対象疾患を挙げさせていただきます。

熱傷と熱傷後瘢痕、脱毛、身体外表の怪我とその瘢痕、顔面骨骨折、腫瘍（ほく



形成外科部長 林雅裕

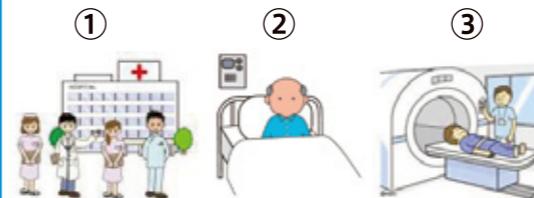
かかりつけ医

- ①初期の診療 ②慢性疾患の診療
- ③病気の予防・健康管理



公立昭和病院

- ①重症患者さんの診療 ②入院治療
- ③専門的な検査・治療



かかりつけ医とは、風邪をひいたり胃もたれやケガをした時などの日常的な病気や、患者さんやご家族の病気の予防や健康管理のアドバイスをしてくれる身近にいる『お医者さん』で大変心強い存在です。診察や入院が必要と判断された場合は、当院や専門の病院を紹介してくれます。

当院は、かかりつけ医から紹介のあつた患者さんや重症患者さんの急性期医療を行なう病院です。病状が安定した場合には、かかりつけ医に逆紹介し、かかりつけ医がその後の治療を継続します。当院とかかりつけ医が連携し患者さんの診療に関する情報を共有することで、いつでも安心して受けられる医療に努めてまいります。

かかりつけ医を持ちましょう

地域医療連携室だより！



【方針】

- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
- 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
- 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
- 5 信頼される優れた医療人を育成します
- 6 健全な病院経営に努めます



公立昭和病院

〒187-8510
東京都小平市花小金井8-1-1
tel.042-461-0052
fax.042-464-7912
www.kouritu-showa.jp



当院は、東京都多摩地域の小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、武蔵村山市および西東京市の8市で構成されている昭和病院企業団により運営されています。標榜診療科は全31科。休日・夜間救急医療をはじめ、高度・専門医療、予防医学的事業、地域医療センターとして高い機能を発揮して、地域の医療需要と信頼に応えています。

● 表面のつづき

ろ、あざ、しみ、皮膚腫瘍、脂肪腫、皮膚がん、乳房外 Paget 病、ケロイド、レツクリングハウゼン病)、眼瞼下垂、眼瞼皮膚弛緩症、睫毛内反、兎眼症、顔面神経麻痺、耳ろう孔、副耳、折れ耳、Stahl 耳埋没耳、小耳症、耳介裂、耳垂裂、ピアスケロイド、鞍鼻、唇裂鼻変形、舌小帯、上唇小帯、口唇裂、口蓋裂、巨口症、巨舌症、翼状頸、頸囊胞、女性化乳房、副乳、乳がんなど他科手術後の組織欠損に対する再建、臍欠損、でべそ、包茎、陰唇肥大、半陰陽、巻き爪、陥入爪、爪甲鉤弯症、多指症、合指症、第4趾短縮症、絞扼輪、わきがなどなど。

これらに当てはまる方は遠慮なくご来院ください。誠意をもって対処します。もちろん当方の得意な分野もあります。必要とあれば苦手な領域もあります。必要とあれば強力な術者をお呼びするかご紹介します。

なお、追加となります。当院では年2台レーザーが導入され皮膚科も含め3台となります。これにより種々の「あざ」の治療が可能になりました。また、ほくろやシミ、盛り上がった老人性疣贅などお悩みの方は是非ご相談ください。

なお、追加となります。当院では年2台レーザーが導入され皮膚科も含め3台となります。これにより種々の「あざ」の治療が可能になりました。また、ほくろやシミ、盛り上がった老人性疣贅などお悩みの方は是非ご相談ください。



昭和病院の緩和ケアチームの活動について

① 緩和ケアとは?

がんと診断された患者さんとその家族は、さまざまな場面でつらさやストレスを感じています。がんの療養中は、患者さんの日常生活を妨げる痛み・吐き気・食欲低下・息苦しさ・だるさなどのからだの不調、気分の落ち込み・絶望感などの心の問題などがあります。これらの症状は程度の差はあります。多くの患者さんが経験します。緩和ケアはこのようながらだと心の痛みを和らげることを目的としています。

がんと診断され早い時期から緩和ケアを取り入れていくことは、患者さんと家族の療養生活の質をより良いものにしていくことができると言えられています。緩和ケアはがんと診断された時から、がん治療と並行してどのような時期からでも受けることができます。



緩和ケアチームは、当院を通院中の人は入院中の患者さんとその家族を対象に活動を行っています。主治医や病棟・外来看護師などのスタッフと協力して、患者さんやご家族のつらさのケアを行います。

週1回のチーム回診やカンファレンスの他、個々の診療は随時行い情報をチームで共有しています。なお、がん以外のご病気の方のサポートも必要に応じて対応しています。

② 緩和ケアチームの活動

緩和ケアチームの活動

がんなどに対する治療と緩和ケアの関係

- 痛み以外の身体症状(息苦しさ・倦怠感・食欲不振など)による苦痛
- 転院や自宅での療養についての不安
- 死への恐怖・自分の存在や生きる意味についての悩み
- 不安・落ち着かない・気分の落ち込み・眠れない・イライラなどの精神的な苦痛

右記のような場合などに対応しています。

緩和ケアチームの活動内容

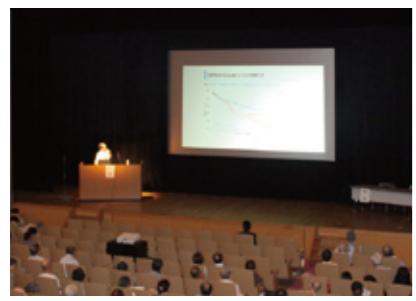
- 放射線治療や抗がん剤の副作用などによる苦痛
- 痛み止め(医療用麻薬)などの薬剂に関する相談
- 関連する相談
- 放射線治療や抗がん剤の副作用などによる苦痛

小平ガーデニングコンテスト銀賞 受賞!

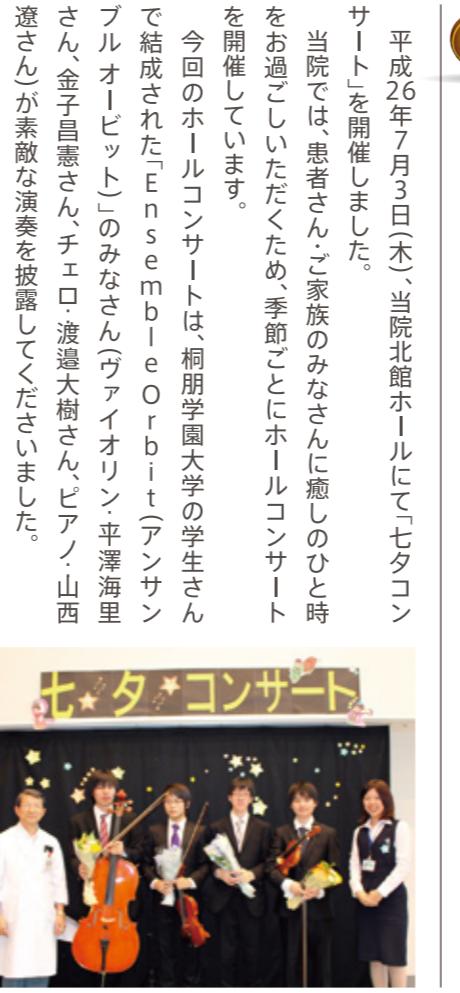


「がんなどの治療と緩和ケアの関係」

平成26年8月3日(日)に第14回市民公開講座をルネ小平で開催しました。今回の市民公開講座のテーマは、前立腺がんと脳卒中。身近な病気とすることもあり、約300名の方にお越しいただき、質疑応答の時間には参加者の方から多くの質問が出ました。次回は、平成27年2月8日(日)の開催を予定しております。会場は東村山市中央公民館です。詳細が決定次第、お知らせいたしますので、みなさんお気輕にご参加ください。



市民公開講座を開催しました



平成26年7月3日(木)、当院北館ホールにて「七夕コンサート」を開催しました。当院では、患者さん・ご家族のみさんに癒しのひと時をお過ごしくださいため、季節ごとにホールコンサートを開催しています。

今回のホールコンサートは、桐朋学園大学の学生さんで結成された「ENSEMBLE Orbis」(アンサンブルオービット)のみなさん(ヴァイオリン・平澤海里さん、金子昌憲さん、チェロ・渡邊大樹さん、ピアノ・山西遼さん)が素敵な演奏を披露してくださいました。ジブリメドレーや「上を向いて歩こう」、TVドラマ等でも聞き覚えのある曲などを演奏していただき、馴染みのある曲の数々に、お集まりいただいたみなさんも、とても楽しそうに耳を傾けていました。今後のコンサートの予定等については、院内にてポスター等で周知いたします。みんなの参加をお待ちしております。

